

情報公開について

インフォームド・コンセントを受けない場合において、下記のとおり情報を公開します。

(研究課題名) 根面被覆術における難易度評価
(実施期間) 2020 年 1 月 1 日～2029 年 3 月 31 日
(意義・目的) 歯肉退縮は歯の周りの歯肉が退縮し、歯根がお口の中に露出してしまう状態を指します。歯肉退縮を放置すると約 80%の確率で進行すると言われており、その結果、歯周病だけでなく知覚過敏症や根面の虫歯につながります。 歯肉退縮に対しての治療法には根面被覆術という歯肉を移植する手術が有効とされており、歯肉の厚みや、歯肉の性状を変えることで長期的な予後を維持できると結論づけられています。 現在、重度な歯肉退縮における難易度の分類は限られているため、手術前と手術後の検査結果をもとに評価を行うことで、今後新たな術式開発や歯肉退縮に関する知見の深化に繋がります。
(研究方法) お口の写真、エックス線写真、歯科用 CBCT 像、歯周病検査結果、歯磨きの状況の記録プラークなどを診療記録から取得します。情報は匿名加工し、管理いたします。研究のために新たに検査を行うことはありません。診療記録からの情報で得られたデータと口腔内診療記録を照らし合わせ、関連性を検証します。
(問い合わせ窓口) 日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座 研究責任者 佐藤 秀一 日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座 連絡担当者 間中総一郎 連絡先 電話 03-3219-5152

本研究に御賛同いただけない方は、上記まで御連絡ください。